

## 令和7年度 新潟県立駒林特別支援学校 学校評価のまとめ

### 1 各学部の成果と来年度に向けて

#### (1) 小学部

今年度も体育と音楽は、学部全体の児童が課題や興味・関心に応じた2つのグループに分かれて活動を行いました。実態に応じた内容や活動に取り組み、習熟度を高めたり、多くの経験をしたりとすることができました。体育では、単元によってメンバーを流動的に変更して活動することができ、経験の幅が広がりました。

新入生歓迎会などの学部の行事や生活単元学習では、リハーサルを何度も行ったり、同じ工程で繰り返し学習したりすることで、自分のやることや役割を理解して、自分から動こうとする姿が見られました。

キャリア教育に関わる取組として、6年生は中学部の授業を見学したり、ランニングや音楽、しごと学習などの活動に参加したりしました。中学部に向けての意識付けや準備も授業で着実に行うことができ、子どもたちの意識も変わりました。

来年度も、児童の実態に適した活動や題材を選び、経験を積み重ねられる場を設定していきます。

#### (2) 中学部

生活単元学習や総合等の体験活動では、「自分でできることは自分です」という共通認識を教師が持ち、その生徒に合った必要最小限の支援を行うことで生徒が自分でやろうとする気持ちや行動が芽生えてきました。また、朝の会や係活動においては、適切な課題や役割を設定し、毎日繰り返し活動することで見通しを持って取り組む姿が増えました。

個々の実態に合った役割分担や作業時間を設定したり、スケジュールボード等を使って視覚的に活動の流れや始まりと終わりを提示したりすることで、時間いっぱい取り組むことができる姿が見られました。また、VOCA(Voice Output Communication Aids)を使つての作業や報告など、自分のできることを生かして作業に取り組んだり、課題の成果を生徒自身が即時に確認できるようにしたりすることが達成感を感じながら活動に取り組むことに繋がりました。

自分の好きな活動を増やすために、図書館に行って好きな本を借りたり、カラオケで好きな曲を聞いたり歌ったりするなど、今年度は様々な活動に取り組み、余暇の幅が広がってきました。また、校外学習や宿泊学習、修学旅行では各学年の実態に応じた体験場所(美術館、博物館、温泉等)で活動を行い、楽しむことができました。

来年度は、生徒がより意欲的に活動を行い、達成感を感じることができるよう発表会や記録会に保護者を招待する機会を設定していきます。また、自分の活動を振り返る場面や機会を大切にし、自己理解を深める活動を設定していきます。

### (3) 高等部

本年度は、生徒が安心・安全に学校生活を送り、前向きに学習へ参加できることを大切にしながら、3つの力（生活する力・働く力・楽しむ力）の育成を目指して教育活動の充実に取り組みました。

授業では、生徒の課題や実態に応じたグループ編成を行い、生徒同士が互いに刺激を受け合うことで、学習意欲の向上につながる姿が見られました。運動会では生徒が楽しみながら主体的に参加できるよう競技内容を見直したことで、友達と声を掛け合い、協力しながら生き生きと活動する姿が多く見られました。わかこま祭では全員で力を合わせて練習や準備を積み重ねることで、本番では大きな達成感を味わうことができました。進路に関する学習では、近隣の企業や福祉施設の見学、校内・職場実習などを通して、働くことや卒業後の生活について具体的に学ぶ機会を設けました。生徒は自分の良さや課題に気づき、将来に向けて前向きに考える姿を見せてくれました。さらに、外部講師を招き、ゲートキーパー研修や情報モラルの学習を実施し、自分や友達の心と体を大切に、安全に生活するための力を育んできました。

来年度も、生徒一人一人の実態や思いを大切にしながら、日常生活や将来の進路につながる学びの充実を図って参ります。地域や関係機関と連携し、より実践的な学びを進めていきます。

## 2 保護者アンケートより

ほとんどの項目で、「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な評価が90%以上か、それに近い数値となっています。多くの保護者の方から、当校の教育活動を高く評価していただいている結果と捉えています。質問④の「学校や担任は、保護者の声に耳を傾け、連携しながら教育活動や学校経営を行っている」の項目では肯定的な評価が100%でした。これからも引き続き保護者の皆様との連携を大切にしていきたいと思えます。

少ない数値ではありますが、質問⑤⑥⑧⑨では「分からない」という回答がありました。質問⑧の「学校は、卒業後の進路について情報提供や指導・支援を適切に行っている。」に対して「分からない」の回答は全体で8.6%でした。卒業後の進路については、進路だよりでお知らせしたり、ホームページにも掲載したりしているのでご覧ください。

「分からない」という回答に私達は課題意識をもち、取り組んでいることをしっかりと伝えられるよう、「発信力」を高めていきたいと考えています。

お寄せいただいたご意見やアンケートの結果を真摯に受け止め、保護者の皆様のご意見、ご要望に耳を傾けていきます。アンケートへのご協力ありがとうございました。

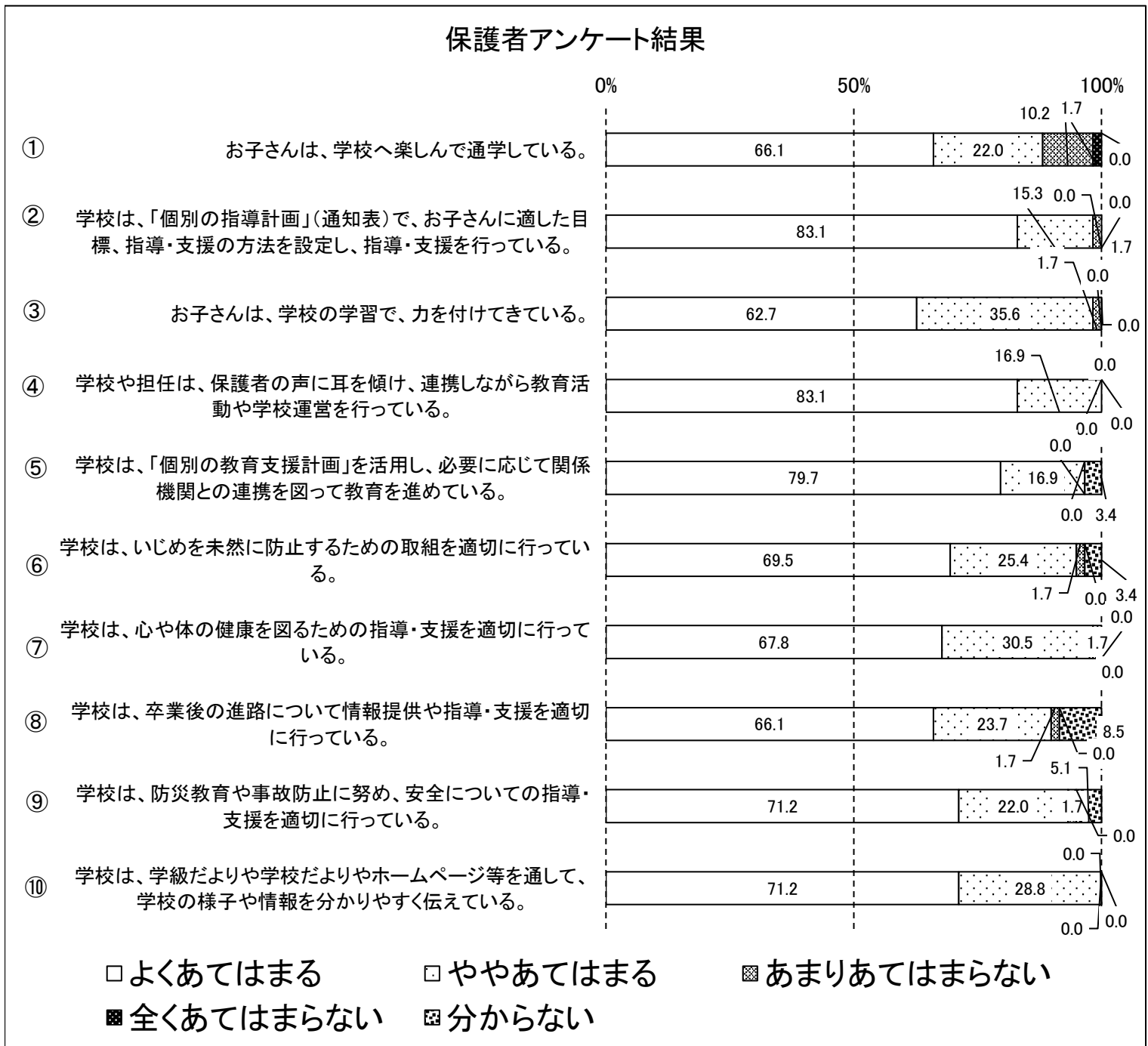
## 3 児童生徒アンケートより

ほとんどの項目で、○(はい)の肯定的評価が高く、「学校は楽しい」と答える児童生徒が多くいるものの、質問③「学校の学習は、よくわかる」の項目が「わからない」が17.2%と他の項目と比べて高いことが分かります。学校を楽しんでいると感じつつも、学習が理解できていない訳ではないですが、何らかの不安を

感じていると推察できます。児童生徒一人ひとりが分かる授業を展開し、きめ細やかなサポートを続けていきます。

また、記述欄の「学校で、がんばりたいことや、やりたいことなどを書いてください」の項目では、「学校でお話できるように頑張りたい」(小)、「ローマ字が上手に打てるように頑張りたい」(中)、「漢検を頑張りたい」(中)「書き初めの字をきれいに書けるように頑張りたい」(高)、「働けるように毎日頑張りたい」(高)など、多くの児童生徒が頑張りたいことややりたいことを書いてくれました。これからも児童生徒一人ひとりの思いや考えを大切にしながら、教育活動に取り組んでいきます。

令和7年度 学校評価 保護者アンケート結果 (回答数59 回答率96.7%)



令和7年度 学校評価 児童生徒アンケート結果 (回答数58 回答率95.0%) ※58名提出うち1名無回答

